

**2018年度同志社大学大学院司法研究科
入学試験問題〔小論文〕**

次の課題文を読んで、問（１）、（２）に答えなさい。

第1問 （配点：30点）

下線部に「これにどういう理屈が働いているかは歴史的に見ればわかる」とあるが、その理屈とはどのようなものか説明しなさい。（300字程度）

第2問 （配点：70点）

筆者の主張について反論を試みた上で、あなた自身の見解を述べなさい。その際、自分で考えた具体例に言及しなさい。（1, 200字程度）

【文章の掲載は、省略。】

出典：カレル・ヴァン・ウォルフレン『人間を幸福にしない日本というシステム』（毎日新聞社、1994年）

問題文作成の都合上、一部に変更が加えてある